



平成29年度 城山地区地域活性化事業交付金 交付決定事業実績

平成30年3月31日現在

事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
1 「城山地区で本物に触れよう」	城山地区青少年健全育成協議会	子どもたちが一流の芸術や日本古来の伝統文化などの「本物」を直接「観たり・聴いたり・感じたり」することで、子どもたち一人ひとりの情操面が豊かになることを目的とする。 また将来的には、この取組の企画、運営、立案、実施の段階に幅広く地域の中学生、高校生、大学生なども巻き込み、地域のコミュニティの輪を広げ、繋がりが深まっていくことも期待する。	開催日:12月3日(日) 内容:中学生による演奏、オーケストラと中学生による合同演奏、オーケストラによる演奏 周知:地域情報紙、自治会掲示板へのポスター掲示など 来場者数:約470人	地域の子どもたちはもとより、さまざまな世代が参加して心豊かなひとときを共有することで、地域での情操教育や地域コミュニティの形成につなげることができた。また、翌日に新聞報道もされるなど、市内外への城山地区のPRにもつながった。	事業実施当日や事業を実施するまでの準備も含め、中学生をはじめとするさまざまな地域住民や関係団体と協力することで、世代を超えた地域コミュニティの形成につながったことは、大きな成果であったと評価している。	H29.5.10	700,000
2 城北ヒガンバナ育成事業	城北ヒガンバナを育てる会	秋の開花時は見事な花をつけるヒガンバナを田畑の土手周辺に植えることにより、散歩やハイキング等で訪れる方の目を和ませ、憩いの場所として親しんでいただくとともに、「花と緑のまち城北」を更にアピールしていくことを目的とする。 また、ヒガンバナは有毒性であることから、これを植え付けることによりネズミ、モグラ、ミミズ等がいなくなり、それらを餌にしているイノシシの減少も期待することができる。	実施日 平成29年7月1日(土) 植付け場所 城北穴川地域の田畑の畔 参加者 自治会員を主体に子ども育成会の児童とその父母、法政大学、東京家政学院大学、明星大学の学生など48名 植付け数 5,000個(全て赤色)	昨年度より多くのヒガンバナが開花し、ハイカーや散歩で訪れる人の目を和ませることができ、「緑と花のまち城北」のPRにつながったと思う。 また、有毒性のヒガンバナを田畑の周辺に植えたことにより、ネズミやモグラ、ミミズなどのイノシシの餌が減り、イノシシが田畑を荒らすことが昨年度よりさらに少なくなった。	植え付けを行った場所は、県道から西に向けて雑壇になっているので、田畑を遠くまで見渡すことができる。ヒガンバナの開花時には素晴らしい景観となり、ハイカーなどの多くの方々に憩いの場所として親しんでいただけた。	H29.5.10	542,000
3 認知症カフェ「まんまるえがお」	まんまるえがお運営委員会	認知症及び認知症の疑いがある方が自宅へ閉じこもらずに、楽しみながらくつろいでいただける場を提供する。 地域の方に認知症に関する心配事等を相談する場を提供する。 地域の方に認知症の知識及び対応方法を周知する。	認知症カフェ 開催日:毎月第3火曜日(4月18日~3月20日) 内容:歌、体操、茶話会、認知症相談、簡易認知症チェック測定等 参加数:平均約22人 認知症サポーター養成講座 6/17(土)グループホーム城山(30人) 9/27(水)中沢中学校(37人) 11/13(月)城山高校(150人) 11/20(月)城山高校(150人) 12/4(月)城山商工会(23人)	認知症カフェでは、歌や体操、茶話会などを行い、認知症及び認知症の疑いのある方などが楽しくくつろげる場や認知症についての相談をする場を提供することができた。また、認知症サポーター養成講座を開催することで、中・高校生や社会人の方々に対して、認知症についての正しい知識を周知することができた。	認知症及び認知症の疑いのある方などに、楽しくくつろいでいただける場を提供したことにより、そうした方々が自宅に閉じこもらずに地域社会との関係性を持つ機会ができたことや、認知症サポーター養成講座の開催により、特に若い世代の方々に対して、認知症についての正しい知識の周知を図れたことは大きな成果であったと評価している。	H29.4.28	60,000
4 地域の保健・健康づくりの増進に関する事業	地域住民の健康増進を図る会	地域住民の健全な健康増進を図るとともに地域の活性化を図ることを目的とする。	H29.5 除草・芝刈・小石拾い等 10名 H29.6 除草・芝刈・小石拾い等 15名 H29.7 除草・芝刈等 11名 H29.8 側溝グレーチング購入・設置 2名 H29.8 芝刈 6名 H29.9 芝刈・草刈 8名 H29.10 芝刈 3名 H30.3 会議 3名	地域住民の健全な健康増進と地域の活性化を図るため、地域の住民が連携しながら天然芝の広場を整備したことによって、地域住民の連帯感を醸成することができた。また、子どもから高齢者など様々な年齢層の方々が、スポーツやレクリエーションを通じて、気軽に楽しみながら健康増進を図ることができる環境を整えることができた。	本年度は、日照不足などの天候不順により芝生の生育状況が芳しくなく、計画していたグラウンド・ゴルフ大会は実施することができなかったが、新年度早々には広場の供用開始を予定しており、今後は多くの地域住民の方々が、自らの健康増進のためにスポーツやレクリエーションを楽しむことができる環境を作り上げることができたことは大きな成果であったと評価している。	H29.5.10	400,000

事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
5 葉山島地域活性化事業	湘南みらい実行委員会	次世代における担い手の人材育成や地域内で活動している自治会、育成会、老人会がより一層連携を深めることが重要であることから、「地域活性化」をキーワードとして地域住民が一体となり、「落花生の収穫祭」を開催することにより、葉山島当地域を多くの市民に知ってもらうとともに、地域全体の目的である葉山島の振興と地域活性化を図ることを目的とする。	開催日:10月1日(日) 内容:地元農家による地場農産物の販売、落花生の収穫体験、落花生を使用した親子料理教室 来場者数:約850名 広報:チラシ配布、タウンニュース掲載(緑区・中央区)	タウンニュースで相模原市内(緑区、中央区)に周知を行うといった広報活動により、収穫祭には近隣地域を始め、特に八王子市、町田市、愛川町、川崎市、横浜市からの来場者が増加し、過去最高の来場者数となり、市外への葉山島地域の魅力発信、さらなる地域の活性化に繋がった。	過去最高の来場者数となり、市外への葉山島地域の魅力発信、さらなる地域の活性化に繋がったことは大きな成果であったと評価している。今後も引き続き、各種団体とタイアップし、葉山島周辺の団体との広域的な連携により一層事業を推進していきたい。	H29.4.20	74,000
6 城山夏まつり	城山夏まつり実行委員会	城山地区の伝統文化の継承を図るとともに、地区内の各種団体と連携しながら地域の活性化を図る。新住民が地域イベントに参加できる環境づくりを行うことにより、地域への愛着を深め、既存の地域住民との融和を図るとともに地域活動に取り組みきっかけづくりを行う。地域の新たな担い手の育成や地域住民のコミュニティ形成、自治会加入促進、地区内の各種団体間の連携強化にも結び付ける。	開催日:8月27日(日)・28日(月) 内容:御輿渡御、山車の運行、祭囃子の競演、花火大会、三味線演奏会など 周知:チラシ配布(城山・二本松・相原) 来場者数 8月27日(日)30,000人 8月28日(月)45,000人	警備員を適正に配置することで、神輿・山車の運行やイベント会場周辺の交通整理、来場者の駐車場が確保され、安全で円滑な事業運営が図られた。また、多くの近隣住民に夏まつり会場へ足を運んで頂き、地域伝統文化の継承や地域住民同士のコミュニケーションが図れるなど、コミュニティ形成につながった。	この夏まつりは、年を重ねる毎に認知度が高まり、今年度は過去最大の来場者数となるとともに、地域の活性化が図られたことは大きな成果であったと評価している。今後も各種団体との連携により、地域全体に相乗効果が芽生えるような事業として継続していきたい。	H29.5.10	650,000
7 災害弱者支援「緊急連絡カード」普及促進事業	自治会法人若葉台自治会	平成29年度は、若葉台自治会区域の全世帯に緊急連絡カードと円筒ケースを配布し、住民同士の見守りや支え合いを強化することを目的とする。これにより、急病で倒れた時等、緊急を要する事態が起きた時に、冷静な対応が出来るように備えることができる。また、緊急連絡カードとケースは冷蔵庫や電話機のそばに吊るすことで、緊急時にスムーズな対応することが期待できる。	昨年度配布した以外の全自治会員に「緊急連絡カード&ケース」を配布し、若葉台地域の全自治会員840世帯への配布が完了した。	「緊急連絡カード&ケース」を全自治会員840世帯に配布したことにより、住民の安心感を高めることができた。	住民同士の見守りや支え合いという「共助」のまちづくりをすすめる、住民の安心感を高められたことは大きな成果であったと評価している。	H29.5.10	250,000
8 地域の文化振興と青少年の健全育成事業	特定非営利活動法人城山スポーツ&カルチャークラブめいぶる	地域の活性化をめざし、未来ある子どもたちの健全育成・親子のふれあいの親交、地域住民間の交流促進を図ることを目的とする。具体的には、相模原市の象徴的な"宇宙"をテーマに、親子、大人を対象にした参加型イベント事業を地域のランドマークである「もみじホール城山」で行う。	H29.6.18 「宇宙の学校」開校式・#1スクーリング 34名 H29.10.1 「宇宙の学校」#2スクーリング 30名 H29.10.14 しろやま宇宙サロン 22名 H29.11.18 「宇宙の学校」#3スクーリング 30名 H29.12.23 「宇宙の学校」#4スクーリング・修了証授与式 34名 H30.2.11 しろやま宇宙講座 19名	相模原市のシンボルでもある「宇宙」を題材にした工作や体験学習という親子参加型教室を行ったことで、親子対話の機会をつくることができた。また、未来に生きる子どもたちはもとより、大人たちにも健全な気づきの機会を提供することができた。	未来に生きる子どもたちに健全な気づきの機会を提供するということは、現代の地域社会において社会貢献度が高いと評価している。また、参加者からの評価でも継続を求める多くの声をいただくことができた。	H29.5.10	160,000

	事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
			事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
9	地域探検バス ~地域 巡りとつながりづくり~	城山地区自治会連合会	<p>城山地区では、高齢者の生活支援について話し合いや取組が進められている。このような取組などを踏まえ、『大学生たちの活動を通じて』という新しい視点から、地理的に隣接していながら、都県が異なることなどにより、これまで交流がなかった地域間の“つながり”を醸成するとともに、他の地域の暮らし向きや取組に触れることにより、改めて自分たちの地域を見つめ直す“再発見”の機会づくりを行い、城山地区における新たな活動展開への一助とすることを目的とする。</p>	<p>H30.1.22 地域キーパーソンミーティング 8名 H30.2.9 参加者募集 H30.2.22 事業実施 45名 H30.3.12 地域キーパーソン振り返りミーティング 11名 H30.3.14 三地域連携ノルディックウォーキング企画ミーティング 10名 H30.3.31 事業結果の周知</p>	<p>今回の事業を通じて、それぞれの地域がどのような地域活動に取り組んでいるのかを知る良い機会となった。また、城山では暮らしの中に畑があるということが大きな魅力であるという言葉もいただくなど、改めて自分たちの地域の魅力を見つめ直す良い機会となった。 特に今回の事業は、都県を異にする八王子市館ヶ丘・寺田地域との連携という、これまでにはなかった発想のものであり、事業の社会的貢献度は高いと感じている。</p>	<p>城山・館ヶ丘・寺田の三地域が連携したノルディックウォーキングの実施が検討されるなど、これまでにない連携への動きが芽生えたこと、将来に向けた新たな地域間連携の展開に期待を持つことができたことは大きな成果であったと評価している。</p>	H30.2.2	150,000
								2,986,000